

令和 7 年度第 1 回小規模離島における持続可能な社会の実現  
に関する万国津梁会議

小規模離島の全体概況

# 目次

---

1	小規模離島分布図	1
2	小規模離島一覧	2
3	面積及び人口規模による指定離島（有人島）の分類	3
4	離島における人口の推移及び将来推計	4
5	離島における生活コストの状況	6
6	小規模離島における住宅確保の状況	9
7	小規模離島における担い手確保の状況	10

## 1 小規模離島分布図

### 小規模離島分布図（35島）

主な離島の位置及び那覇（県庁）との距離

島 名	北 緯	東 經	距離 (km)
波 照 間 島 南 端 (県南端)	24° 02' 44 "	123° 47' 18 "	約 460
北 大 東 島 真 黒 岬 (県東端)	25° 57' 05 "	131° 19' 56 "	約 366
与 那 国 島 西 崎 (県西端)	24° 27' 05 "	122° 55' 57 "	約 516
伊 平 屋 島	27° 02' 21 "	127° 58' 07 "	約 96
伊 江 島	26° 42' 48 "	127° 48' 25 "	約 57
渡 嘉 敷 島	26° 11' 51 "	127° 21' 52 "	約 32
久 米 島	26° 20' 27 "	126° 48' 18 "	約 89
粟 国 島	26° 34' 56 "	127° 13' 37 "	約 61
南 大 東 島	25° 49' 44 "	131° 13' 56 "	約 358

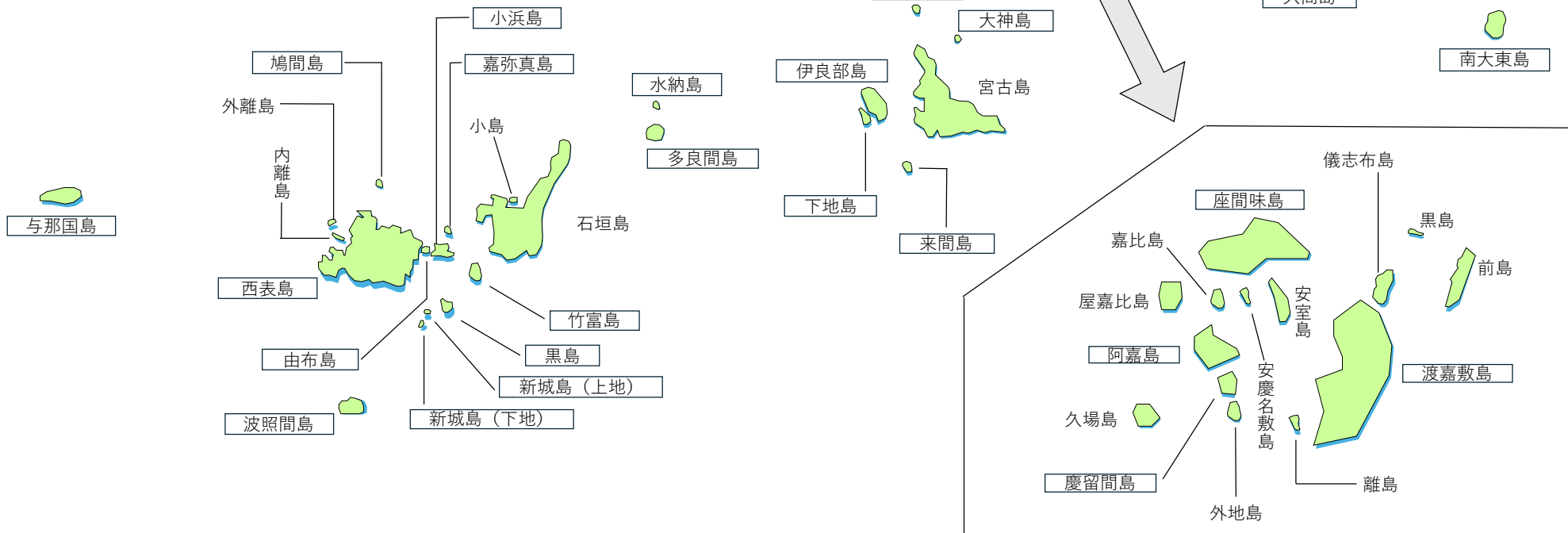
注) 1 距離は、地理院地図(電子国土Web)の情報を基に算定。県庁から市町村役所(場)又は標高点等までの円弧距離。

2 2万5千分1地形図の更新に伴い、最東端及び最西端の経度緯度の数値を更新（令和元年6月1日）。

3 この小規模離島分布図は指定離島のおおまかな位置関係を図示したもので、実際の離島の面積及び離島間の距離とは異なる。

#### 4 島名の四角囲みが小規模離島（35島）

資料：国土地理院HP：GIS・国土の情報－地理に関する情報－日本の東西南北端点の経度緯度－沖縄県



## 2 小規模離島一覧（人口、世帯数、面積、1人あたり所得）

	市町村名	島名	住民基本台帳人口（R6. 1. 1時点）				面積	1人あたり所得 （R3年度）	
			男	女	計	世帯数		所得額	所得水準
北部圏域	伊平屋村	1 伊平屋島	603	503	1,106	567	20.67	2,374	105.6
		2 野甫島	44	40	84	53	1.08		
	伊是名村	3 伊是名島	699	575	1,274	726	14.13	2,392	106.4
	伊江村	4 伊江島	2,214	2,081	4,295	2,259	22.69	2,174	96.7
	本部町	5 水納島	9	11	20	13	0.47	—	—
中南部地域	うるま市	6 津堅島	219	128	347	230	1.88	—	—
	南城市	7 久高島	109	115	224	144	1.36	—	—
	粟国村	8 粟国島	371	293	664	413	7.62	2,313	102.8
	渡名喜村	9 渡名喜島	178	122	300	204	3.58	3,306	147.0
	座間味村	10 座間味島	311	270	581	353	6.7	2,678	119.1
		11 阿嘉島	141	96	237	145	3.8		
		12 慶留間島	33	19	52	36	1.15		
	渡嘉敷村	13 渡嘉敷島	362	313	675	406	15.31	2,507	111.5
	久米島町	14 奥武島	19	11	30	19	0.63	1,972	87.7
		15 才一八島	4	5	9	1	0.37		
	北大東村	16 北大東島	337	220	557	316	11.91	4,230	188.1
	南大東村	17 南大東島	717	507	1,224	695	30.52	3,219	143.1
	宮古圏域	宮古島市	18 伊良部島	2,393	2,348	4,741	2,770	29.07	2,230
19 池間島			274	205	479	327	2.8		
20 来間島			73	73	146	99	2.82		
21 下地島			49	46	95	52	9.68		
22 大神島			12	9	21	18	0.24		
多良間村		23 多良間島	576	479	1,055	534	19.81	1,973	87.7
	24 水納島	3	1	4	3	2.16			
八重山圏域	竹富町	25 西表島	1,235	1,156	2,391	1,399	289.62	2,266	100.8
		26 小浜島	403	350	753	499	7.87		
		27 波照間島	248	213	461	269	12.73		
		28 竹富島	153	188	341	198	5.43		
		29 黒島	115	102	217	131	10.02		
		30 鳩間島	37	31	68	47	0.96		
		31 由布島	6	2	8	8	0.15		
		32 新城島（上地）	6	2	8	7	1.76		
		33 新城島（下地）	0	1	1	1	1.57		
	34 嘉弥真島	1	0	1	1	0.39			
与那国町	35 与那国島	959	740	1,699	1,010	28.82	3,315	147.4	
計	17市町村	35離島	12,913	11,255	24,168	13,953	569.77	—	—

参照 住民基本台帳人口、面積：沖縄県企画部「離島関係資料（令和7年3月）」

出典 1人あたり所得：企画部統計課「令和4年度沖縄県市町村民経済計算（沖縄県市町村民所得）令和7年4月11日公表」

※1人あたり所得額単位：千円、所得水準は県全体を100としたもの

※1人あたり所得は、データが取得できない津堅島、水納島、久高島を除く

### 3 面積及び人口規模による指定離島（有人島）の分類

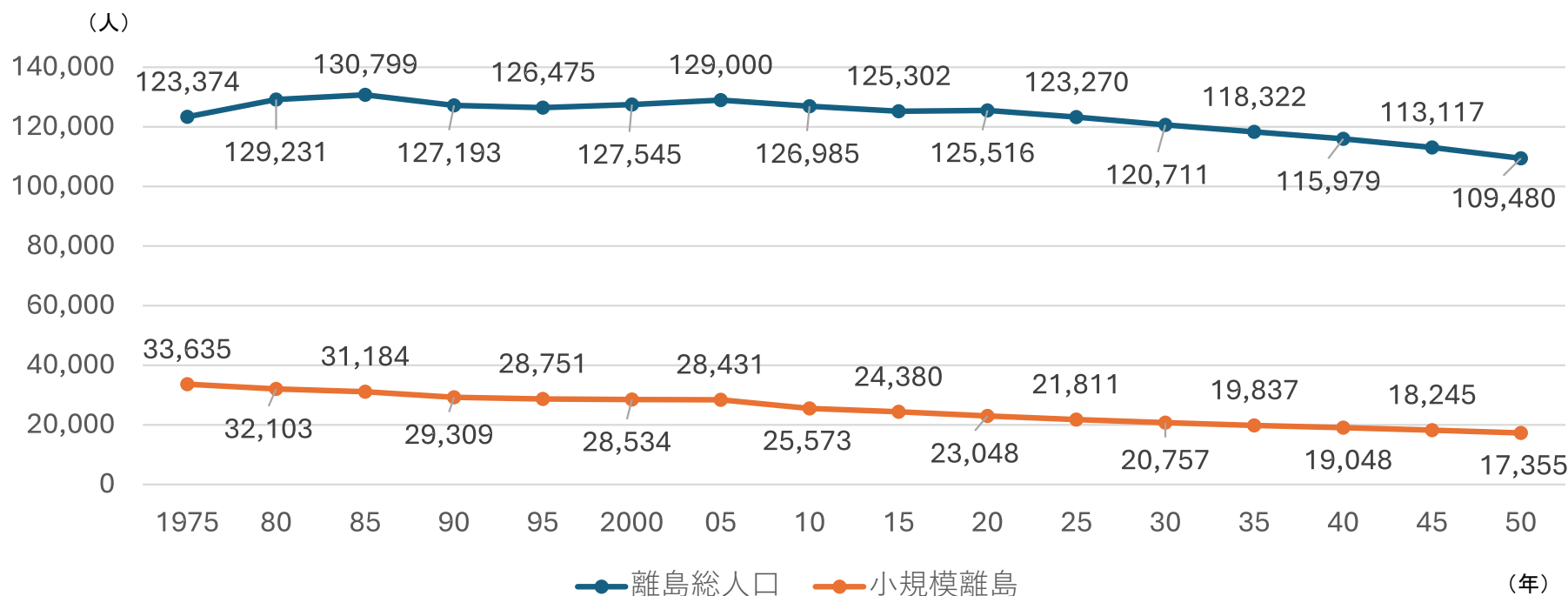
- ・ 有人島の多くが人口1,000人未満であり、また沖縄本島及び中核離島から遠距離にある孤立型離島が多くなっている。

人口規模 面積規模	100人未満	100人以上 1,000人未満	1,000人以上 5,000人未満	5,000人以上 10,000人未満	10,000人以上	計
5km <sup>2</sup> 未満	野甫島 慶留間島 鳩間島 奥武島 大神島 水納島(本部町) 新城島(上地) オーハ島 由布島 水納島(多良間村) 新城島(下地) 嘉弥真島	池間島 津堅島 渡名喜島 阿嘉島 久高島 来間島				18
5km <sup>2</sup> 以上 10km <sup>2</sup> 未満	下地島	小浜島 粟国島 座間味島 竹富島				5
10km <sup>2</sup> 以上 20km <sup>2</sup> 未満		渡嘉敷島 北大東島 波照間島 黒島	伊是名島 多良間島			6
20km <sup>2</sup> 以上 50km <sup>2</sup> 未満			伊良部島 伊江島 与那国島 南大東島 伊平屋島			5
50km <sup>2</sup> 以上 150km <sup>2</sup> 未満				久米島		1
150km <sup>2</sup> 以上			西表島		宮古島 石垣島	3
計	13	14	8	1	2	38

参照：沖縄県企画部「離島関係資料（令和7年3月）」

## 4 離島における人口の推移及び将来推計

- ・ 沖縄県離島の人口は、実績値として2020年（令和2年）で離島が125,516人、小規模離島が23,048人となっている
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」）の将来推計人口では、2050年には離島が109,480人、小規模離島が17,355人まで減少すると推計されている
- ・ 2050年の推計では1975年比で離島が88.7%、小規模離島が51.6%と小規模離島において大幅に減少することが見込まれている



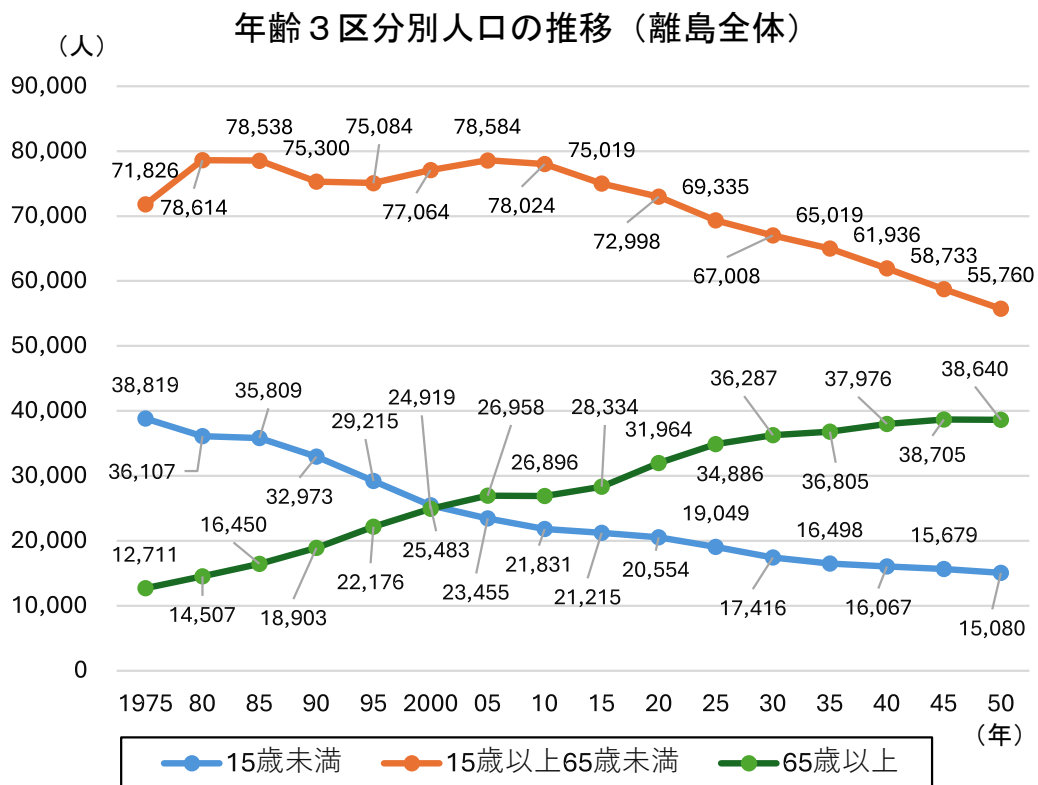
出典：1975年～2020年は総務省国勢調査、2025年以降は社人研推計（2023年）

※データが取得できない津堅島、水納島、久高島を除く

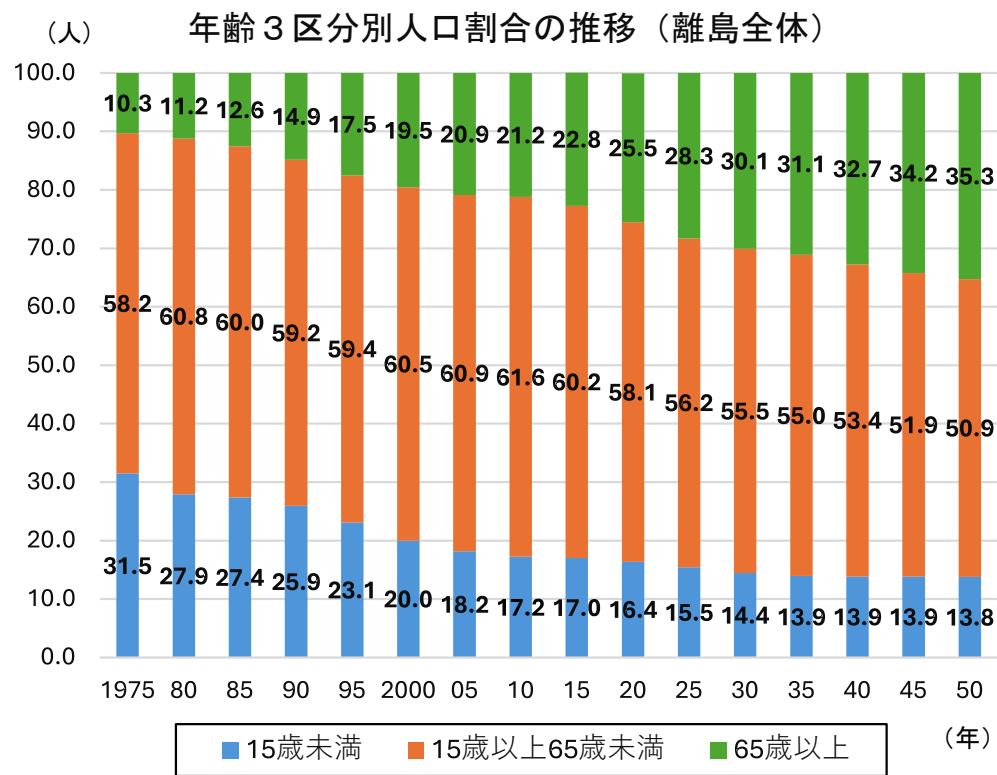
# 4 離島における人口の推移及び将来推計

- ・ 15歳未満は、人口・人口割合とも、1975年（昭和50年）以降減少
- ・ 15歳以上65歳未満（生産年齢人口）は、2010年（平成22年）以降減少
- ・ 65歳以上は、人口、人口割合とも、2010年（平成22年）以降増加

参考：2020（令和2）年人口割合	【離島】	【県全体】
（15歳未満）	16.4%	16.6%
（15歳以上65歳未満）	58.1%	60.8%
（65歳以上）	25.5%	22.6%



出典：1975年～2020年は総務省国勢調査、2025年以降は社人研推計（2023年）  
 ※データが取得できない津堅島、水納島、久高島を除く  
 ※年齢不詳人口は除く



出典：1975年～2020年は総務省国勢調査、2025年以降は社人研推計（2023年）  
 ※データが取得できない津堅島、水納島、久高島を除く  
 ※年齢不詳人口は除く

# 5 離島における生活コストの状況（食品・日用品等価格）

- 県では、沖縄本島の食品・日用品等の価格調査を行っており、離島においては本調査に参加を希望する市町村が各離島で同様の価格調査を行っているため、年度ごとに調査した離島が異なるが、沖縄本島と離島の食品・日用品等の価格を比較できる調査となっている。
- 令和6年では、那覇市量販店の価格を100とした場合、離島平均では126.2となっており、離島の物価が高い状況が確認できる。

離島地域におけるカテゴリー別の価格指数（R6. 10月時点）

No	カテゴリー	久高島		座間味島		阿嘉島		久米島		北大東島	
		平均	指数	平均	指数	平均	指数	平均	指数	平均	指数
1	肉類・加工肉類	128.4		121.7		95.9		130.1		170.2	
2	乳卵類	107.9		104.0		106.5		108.6		104.3	
3	魚介類	-		140.3		-		104.4		-	
4	野菜類	90.6		98.1		122.6		101.9		86.8	
5	果物	171.4		98.5		124.8		131.7		104.1	
6	穀類・加工食品	126.1		132.7		135.6		114.9		124.1	
7	日用雑貨・衣服	104.9		115.5		121.7		108.8		114.8	
8	飲料	158.6		154.1		153.1		113.8		146.2	
	全体	124.8		126.7		128.2		114.2		121.4	

No	カテゴリー	多良間島		西表島		小浜島		与那国島		沖縄離島	
		平均	指数	平均	指数	平均	指数	平均	指数	平均	指数
1	肉類・加工肉類	105.4		144.5		98.0		109.0		119.5	
2	乳卵類	110.7		109.6		111.4		115.8		107.3	
3	魚介類	166.3		109.9		109.3		181.9		124.9	
4	野菜類	142.3		126.9		138.3		109.1		113.4	
5	果物	121.1		118.6		191.4		112.5		119.1	
6	穀類・加工食品	126.0		133.6		131.4		136.8		129.3	
7	日用雑貨・衣服	113.8		125.2		124.3		133.4		118.8	
8	飲料	140.3		155.1		143.8		165.3		148.5	
	全体	125.4		133.7		131.3		134.3		126.2	

離島地域におけるカテゴリー別価格指数（経年比較）

No	カテゴリー	久高島						久米島		
		指数						指数		
		H27年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R4年	R5年	R6年
1	肉類・加工肉類	138.8	168.7	264.6	159.0	135.5	128.4	83.9	105.3	130.1
2	乳卵類	127.4	110.5	116.5	116.2	107.6	107.9	98.0	112.1	108.6
3	魚介類	109.9	-	-	-	-	-	66.3	108.6	104.4
4	野菜類	141.3	106.2	103.9	97.3	89.6	90.6	131.6	116.2	101.9
5	果物	139.3	89.9	179.8	35.2	151.2	171.4	94.0	129.2	131.7
6	穀類・加工食品	138.9	130.4	141.8	128.9	121.9	126.1	125.9	121.5	114.9
7	日用雑貨・衣服	133.5	129.0	129.7	110.8	112.9	104.9	108.0	109.6	108.8
8	飲料	130.9	158.2	173.9	155.4	164.4	158.6	121.1	121.1	113.8
	全体	132.5	127.6	158.6	127.5	123.9	124.8	114.7	117.0	114.2

No	カテゴリー	西表島		与那国島		沖縄離島	
		指数		指数		指数	
		R5年	R6年	R5年	R6年	R5年	R6年
1	肉類・加工肉類	116.0	144.5	100.9	109.0	110.2	119.5
2	乳卵類	121.0	109.6	110.9	115.8	110.8	107.3
3	魚介類	125.4	109.9	134.2	181.9	116.9	124.9
4	野菜類	134.5	126.9	129.3	109.1	116.6	113.4
5	果物	119.8	118.6	126.9	112.5	118.9	119.1
6	穀類・加工食品	122.9	133.6	140.6	136.8	128.9	129.3
7	日用雑貨・衣服	136.5	125.2	135.8	133.4	126.0	118.8
8	飲料	133.6	155.1	164.0	165.3	150.7	148.5
	全体	128.4	133.7	138.1	134.3	127.7	126.2

注：カテゴリー別価格指数は、各調査対象店舗・各品目別に那覇市量販店の平均価格を100として指数化したうえで、カテゴリー別にとりまとめて平均値を算出している。また、全体の価格指数は品目別（全品目）の価格指数の平均値として算出している。

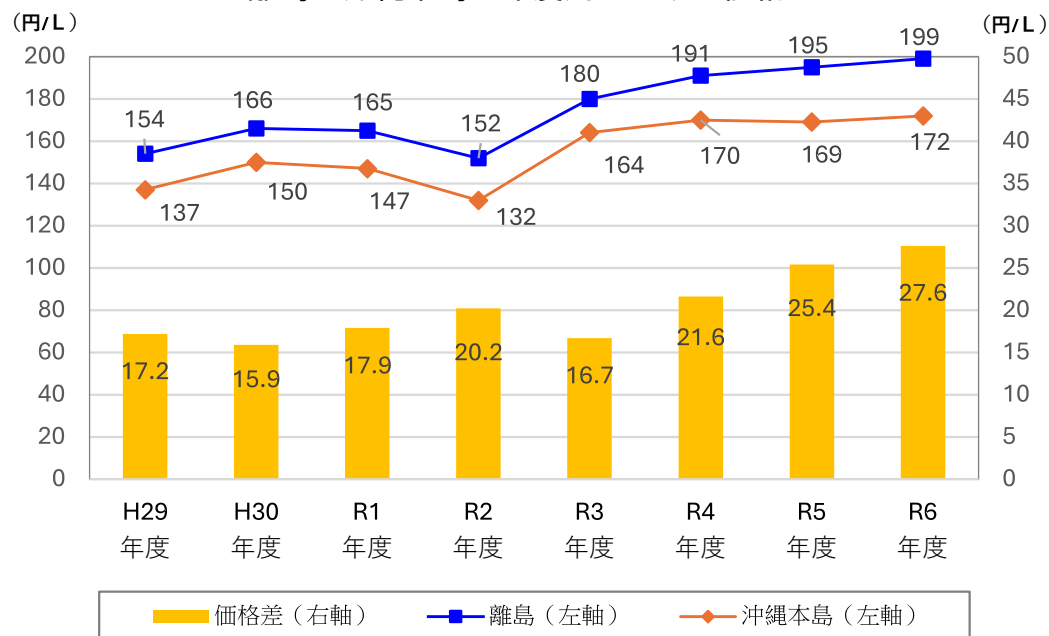
出典：令和6年度離島・過疎地域定住条件整備推進調査（沖縄本島価格調査等）（沖縄県地域・離島課）



## 5 離島における生活コストの状況（ガソリン小売価格）

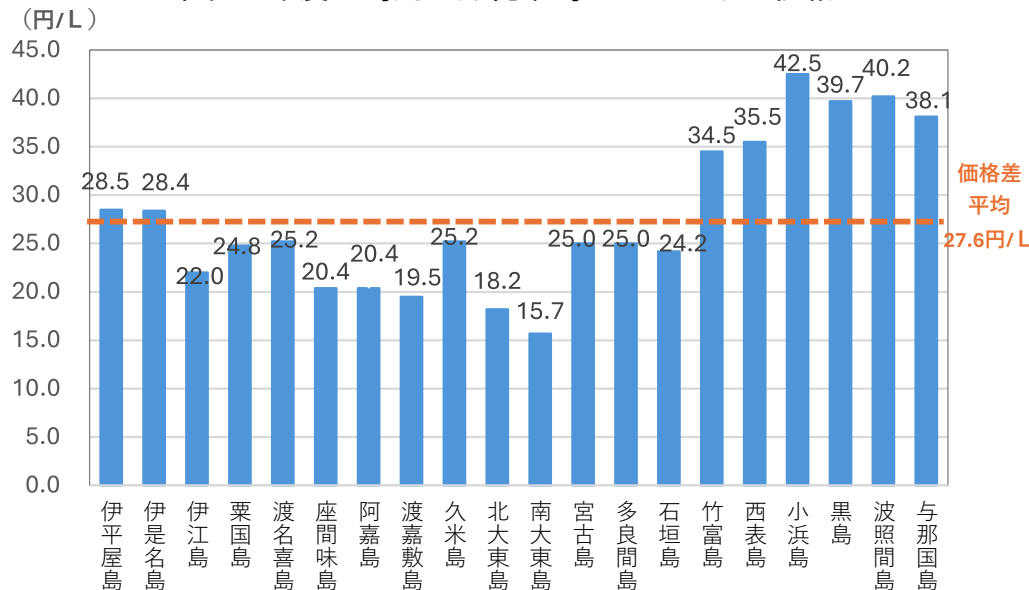
- 県では、離島における石油製品の価格の安定と円滑な供給を図るため、離島への石油製品の輸送費補助を行っているが、それでもなお沖縄本島と離島の価格差が発生している状況。
- 離島と沖縄本島の年度別ガソリン価格差は、令和3年度以降拡大が続き、令和7年度は27.6円/Lとなっている。
- また、令和6年度の島別の沖縄本島との価格差は、伊平屋島、伊是名島及び石垣島を除く八重山圏域で離島平均の27.6円/Lを上回っている。

離島と沖縄本島の年度別ガソリン価格差



出典：令和6年度石油製品輸送等補助事業の効果等に関する調査（地域・離島課実施）

令和6年度の島別の沖縄本島とのガソリン価格差

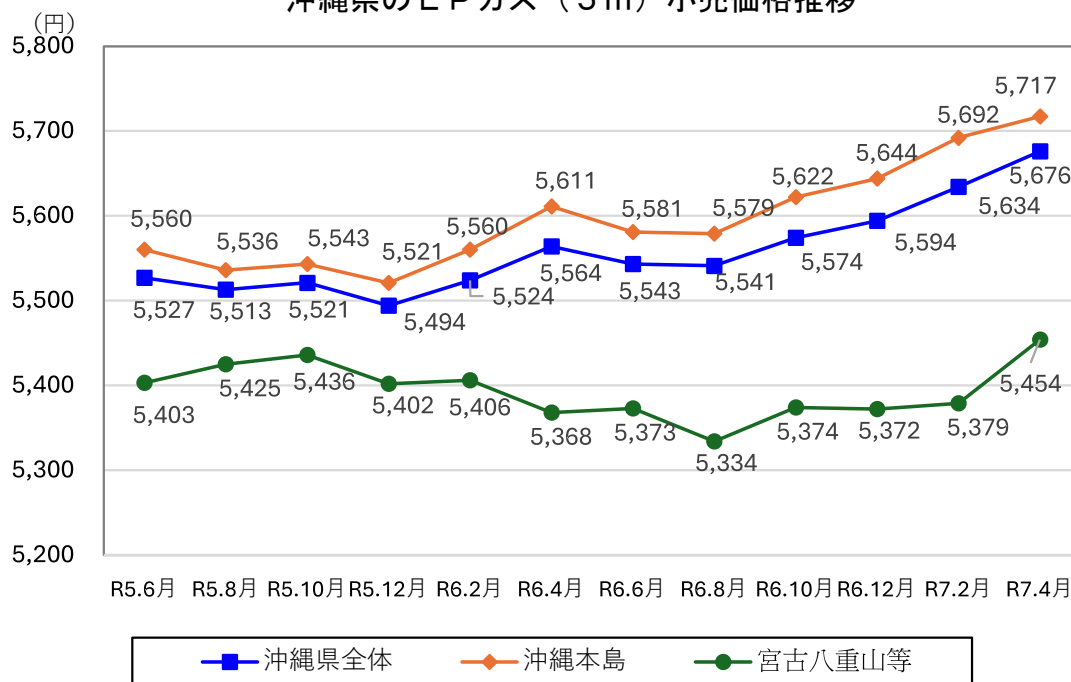


出典：令和6年度石油製品輸送等補助事業の効果等に関する調査（地域・離島課実施）

# 5 離島における生活コストの状況（LPガス小売価格）

- 令和7年4月時点でのLPガス小売価格は、沖縄県調査、石油情報センター調査いずれも離島地域が沖縄本島を上回る結果となった。
- 沖縄県調査の離島別で見ると、座間味島、阿嘉島、鳩間島、北大東島、南大東島、多良間島などで沖縄本島平均を上回っている一方で、久高島、波照間島、久米島、宮古島などで沖縄本島平均を下回った。
- なお、事業者への聞き取りにより、沖縄地域の1か月あたりのLPガス平均使用量は5 m<sup>3</sup>程度であったため、5 m<sup>3</sup>の小売価格で比較している。

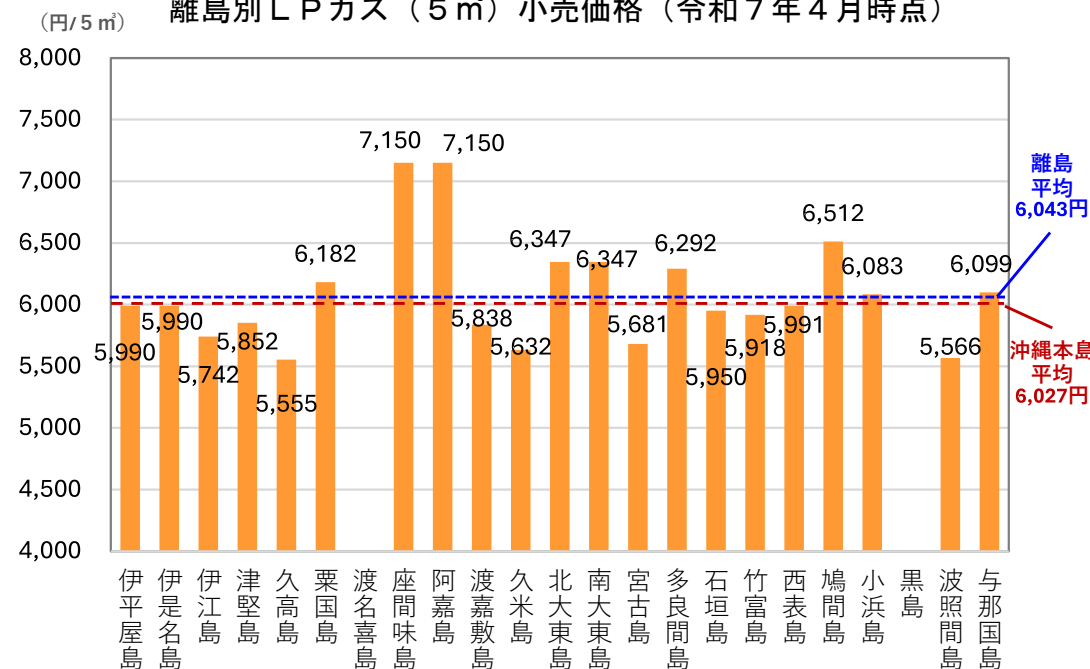
沖縄県のLPガス（5 m<sup>3</sup>）小売価格推移



※ 宮古八重山等：石垣市、宮古島市、伊江村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、与那国町、竹富町、多良間村

出典：一般社団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センター

離島別LPガス（5 m<sup>3</sup>）小売価格（令和7年4月時点）



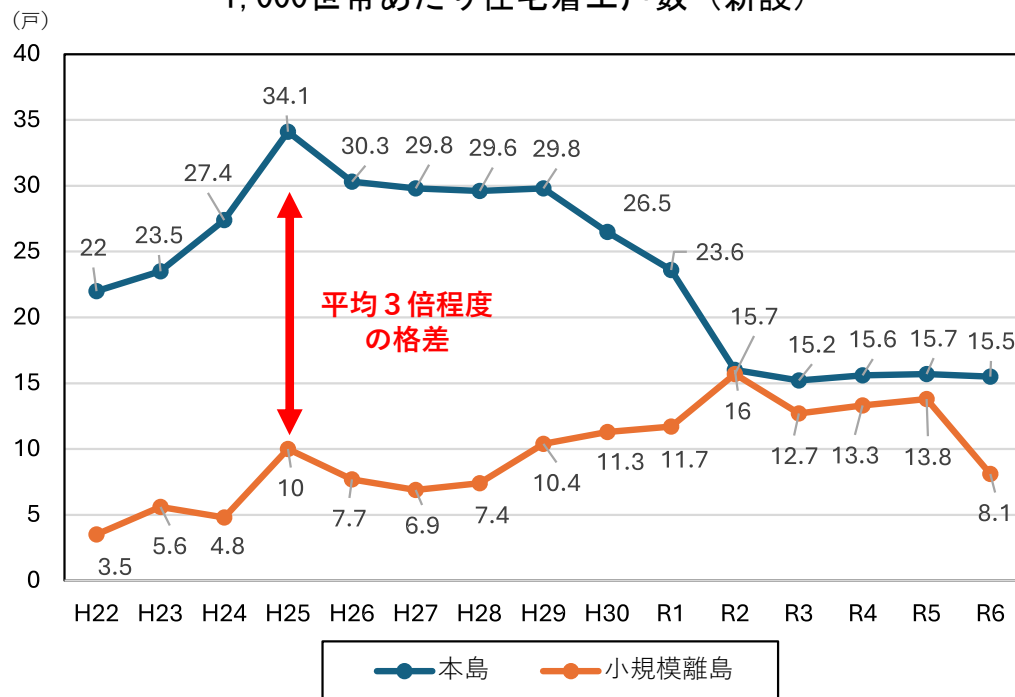
※ 渡名喜島と黒島は調査未回答

出典：令和7年度LPガス価格等調査（速報版）（地域・離島課実施）

# 6 小規模離島における住宅確保の状況

- ・小規模離島においては、割高な建設コスト等により住宅の整備が本島よりも大幅に遅れている状況。
- ・このような状況を背景に、小規模離島においては、住宅不足が深刻化しており、移住者を受け入れる上での課題となっている。
- ・1,000世帯当たりの住宅着工戸数は、平成22年から令和元年度までの間は本島と小規模離島で平均3倍程度の格差が生じていたが、令和2年度以降は本島の着工戸数が減少したことにより格差が縮小している。
- ・小規模離島においては、公営住宅や定住促進住宅等を1,000戸以上供用しているが、ほぼ満室となっている。

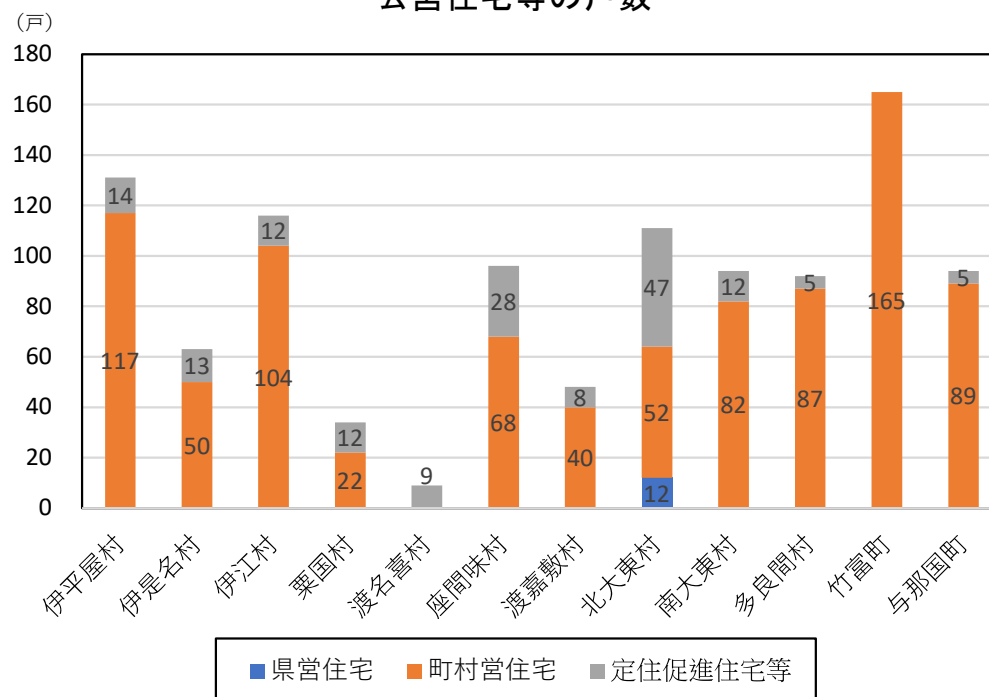
1,000世帯あたり住宅着工戸数（新設）



※小規模離島には、うるま市、宮古島市、南城市及び本部町の離島の着工戸数を含まない。

出典：住宅着工統計、国勢調査（H22、H27、R2）

公営住宅等の戸数



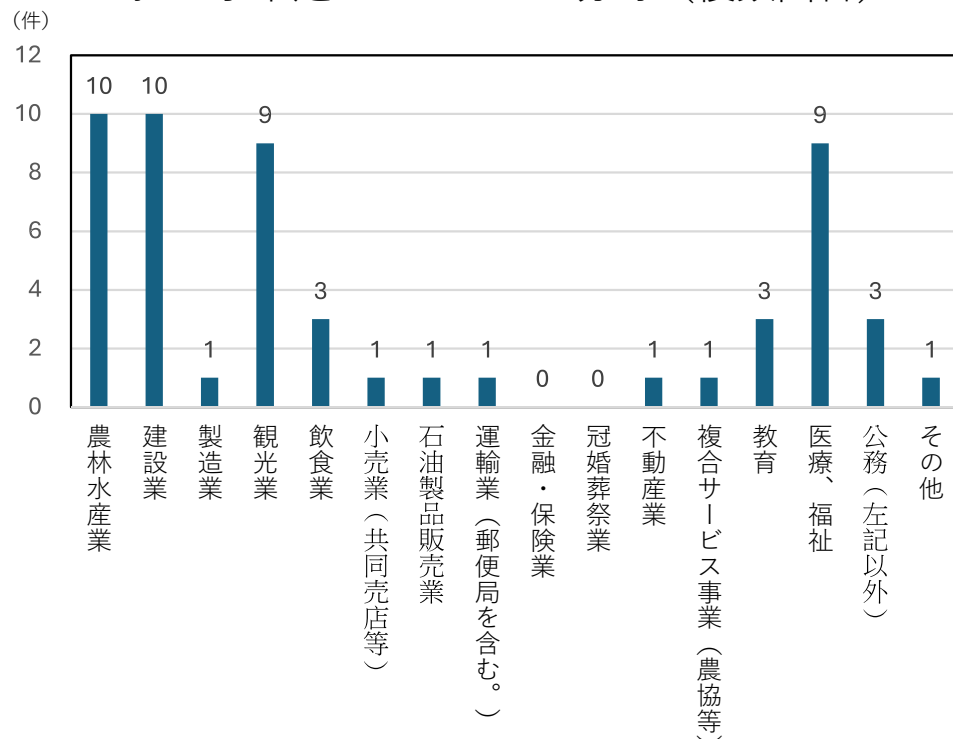
※定住促進住宅等：定住促進住宅、専門職住宅その他の小規模離島町村が供用している公営住宅法に基づかない住宅

出典：市町村アンケート調査（R7.5地域・離島課実施）、県住宅課資料（R7.4.1時点）

## 7 小規模離島における担い手確保の状況

- ・小規模離島においては、長年にわたる人口減少等により様々な分野で担い手不足が発生している状況。
- ・離島市町村に対して担い手が不足している業種についてアンケート調査を行った結果、農林水産業等の各種産業のほか、建設業及び医療・福祉の分野で担い手が不足しているとの回答が多数となっている。
- ・一部の町村においては、保育士の不足等により保育所が運営できない等、担い手不足により、地域社会を支える活動への影響が生じている。

担い手不足が生じている分野（複数回答）



### 【担い手不足に関する小規模離島町村からの意見】

- 看護師、保育士、介護士が不足している。特に、保育士については、人手不足により0～1歳児の保育サービスを提供できない状況である（伊平屋村）。
- 漁師の担い手がおらず、漁獲量が確保できない（粟国村）。
- 保育士が不足しているため保育サービスが提供できない状況である（渡名喜村）。
- 島外からの働き手を呼び込む上で、定住・労働環境整備や就業機会の安定化が求められる（座間味村）
- 医療・福祉・建設・保育など生活支援人材の慢性的不足（南大東村）
- 課題として住宅問題や交通アクセスや医療体制維持もあり、これらは雇用環境にも影響するため、インフラ整備や生活支援策も併せて町の受入態勢を整備することが必要である（竹富町）。